

# 某小学校雨漏り修繕工事

江田式漏水診断・江田式特許防水工法



# 1. 工事概要

## ・漏水診断

エダ式工法 「特許 1339367号」CO<sub>2</sub>ガス圧入による検知システム

スラブ漏水跡クラック部分へ診断用ガス(CO<sub>2</sub>送入装置)を設置し、同所からその水みちに対し雨水の侵透圧とされる0.06～0.15MPaの圧力でCO<sub>2</sub>ガスを圧送した後、屋上で漏水の原因と推定さるる部位についてCO<sub>2</sub>検知機(高感度ガス検知機)により測定した。

## ・漏水補修

コンクリートに発生したクラック及び

各種防水層の不具合に起因する漏水補修に用いる注入工法

## 2. 漏水箇所



### 3. 漏水診断



ガス注入器



ガス検知器



ガス診断中

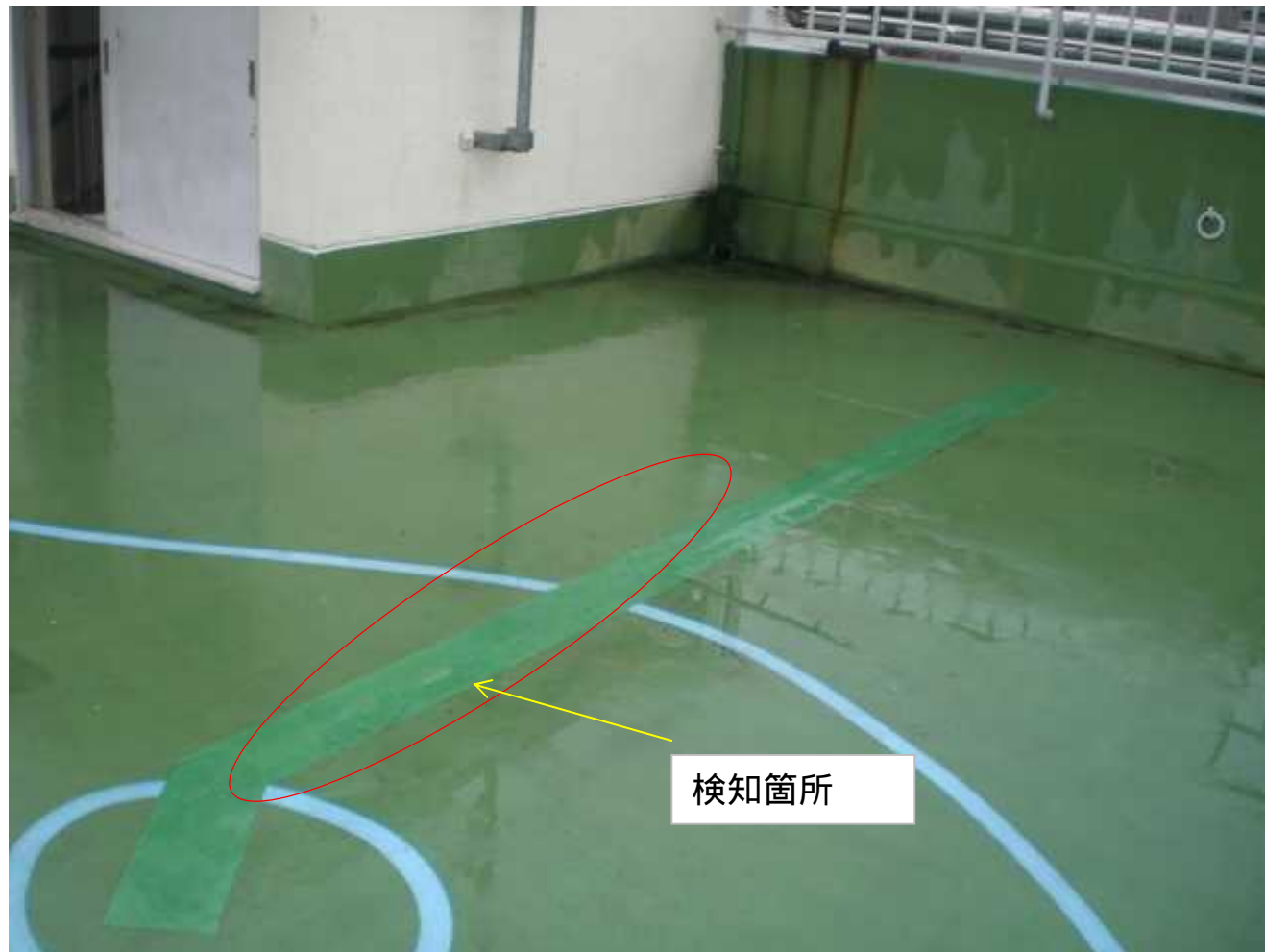


ガス検知箇所

# 4. 漏水診断結果

検知箇所

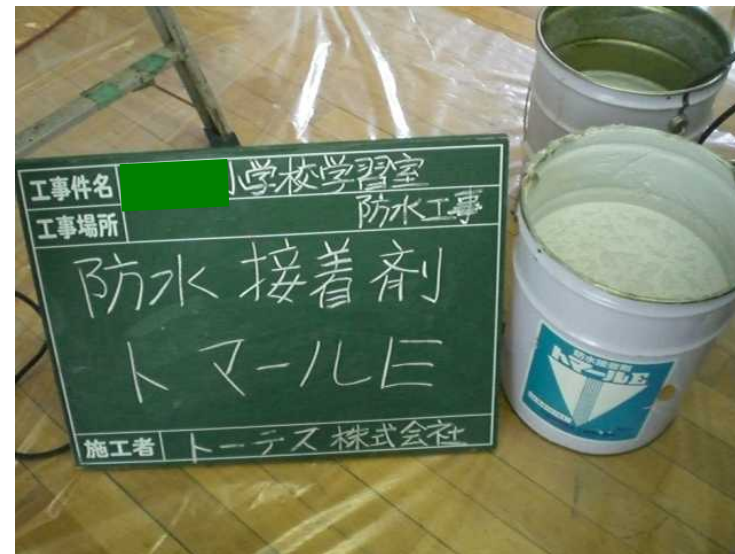
漏水箇所上部の防水のクラック部分



## 5. 漏水補修



足踏み注入器



防水接着剤トマールE

学習室の雨漏れしていた部分の天井をはがし、天井裏を目視すると  
コンクリートに大き目のクラックがあった。

その部分から水が出ていた形跡があったので、ガス診断をその部分から行った。  
屋上の防水の各所を診断したところ、雨漏れ箇所の真上にあたる屋上の平場にも  
クラックが発生し、それを補修した跡があり、そのクラックからガスが感知できた。

学習室側から、クラックの近辺にトマールEを注入しましたので、  
今回の雨漏れは修繕出来たと思います。